



# 損益計算書

〔 自 2019年 4月 1日  
至 2020年 3月31日 〕

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		107,582
売上原価		100,485
売上総利益		7,096
販売費及び一般管理費		6,670
営業利益		426
営業外収益		1,145
受取利息及び配当金	811	
賃貸料収入	223	
貸倒引当金戻入額	9	
雑収入	100	
営業外費用		417
支払利息	166	
為替差損	3	
売上割引	66	
賃貸料収入原価	165	
雑損	15	
経常利益		1,154
特別利益		123
投資有価証券売却益	123	
特別損失		88
固定資産除売却損	87	
投資有価証券評価損	0	
税引前当期純利益		1,189
法人税、住民税及び事業税	178	
法人税等調整額	114	292
当期純利益		896

- (注) 1. 重要な会計方針及び注記については株主資本等変動計算書の次に一括記載しております。  
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

〔 自 2019年 4月 1日  
至 2020年 3月31日 〕

(単位：百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				配当積立金	買換資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
2019年4月1日残高	1,110	515	277	150	451	6,010	4,450	11,339
事業年度中の変動額								
買換資産圧縮積立金の取崩					△ 19		19	-
剰余金の配当							△ 231	△ 231
当期純利益							896	896
自己株式の取得 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）								-
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	△ 19	-	684	664
2020年3月31日残高	1,110	515	277	150	431	6,010	5,134	12,004

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
2019年4月1日残高	△ 2	12,962	2,512	△ 0	2,512	15,475
事業年度中の変動額						
買換資産圧縮積立金の取崩		-				-
剰余金の配当		△ 231				△ 231
当期純利益		896				896
自己株式の取得	△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）			△ 1,013	5	△ 1,008	△ 1,008
事業年度中の変動額合計	△ 0	664	△ 1,013	5	△ 1,008	△ 344
2020年3月31日残高	△ 3	13,626	1,499	5	1,504	15,131

- (注) 1. 重要な会計方針及び注記については株主資本等変動計算書の次に一括記載しております。  
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## I 重要な会計方針

### 1 有価証券の評価基準及び評価方法

#### (1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

#### (2) その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

### 2 デリバティブ等の評価基準及び評価方法

デリバティブ

時価法

### 3 たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法）を採用しております。

#### (1) 直送品及び輸出商品

個別法

#### (2) その他の商品

総平均法

### 4 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	2～50年
構 築 物	2～50年
機械及び装置	4～17年

#### (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）の耐用年数は、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

#### (3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

### 5 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### (2) 投資損失引当金

関係会社への投資に対する損失に備えるため、当該会社の財政状態等を勘案し、損失見込額を計上しております。なお、当事業年度末においては、関係会社への投資に対する損失見込みがないため、投資損失引当金は計上しておりません。

#### (3) 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

#### (4) 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与の支出に備えて、当事業年度に見合う支給見込額に基づき計上しております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員及び執行役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づき当事業年度末における要支給額を計上しております。

6 ヘッジ会計の処理

(1) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。ただし、ヘッジ会計の要件を満たす為替予約については、振当処理を行っており、特例処理の要件を満たす金利スワップについては、特例処理を採用しております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

(ヘッジ手段)	(ヘッジ対象)
為替予約	外貨建金銭債権債務
金利スワップ	借入金利息

(3) ヘッジ方針

外貨建取引に係る債権債務について為替変動に備えるため、必要に応じて実需の範囲内で先物為替予約を行っており、また、長期借入金について金利変動に備えるため、金利スワップ取引を行っております。

(4) ヘッジの有効性評価の方法

為替予約取引については、予約締結時に、リスク管理方針に従い、ヘッジ対象に同一通貨建てによる同一金額で同一期日の為替予約を振り当てており、その後のキャッシュ・フローの変動による相関関係は完全に確保されることから、また、金利スワップについては、金利スワップの特例処理の要件に該当することから、それぞれ決算日におけるヘッジの有効性の評価を省略しております。

7 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

II 貸借対照表に関する注記

1	関係会社に対する短期金銭債権	5,202百万円
2	関係会社に対する長期金銭債権	470百万円
3	関係会社に対する短期金銭債務	2,314百万円
4	関係会社に対する長期金銭債務	5百万円
5	有形固定資産の減価償却累計額	6,598百万円
6	担保に供している資産及び対応債務	
(1)	担保に供している資産	
	投資有価証券	830百万円
(2)	担保に係る債務	
	支払手形	16百万円
	電子記録債務	87百万円
	買掛金	4,304百万円
7	保証債務	

保証先	保証金額（百万円）	保証債務の内容
IKE TRADING CO., LTD.	1,632	銀行借入等に対する支払保証
OG TRADING (THAILAND) CO., LTD	404	銀行借入等に対する支払保証
中和化学薬品㈱	214	仕入債務に対する支払保証
長瀬欧積有色化学(上海)有限公司	134	銀行借入等に対する支払保証
オー・ジー長瀬カラーケミカル㈱	46	仕入債務に対する支払保証
長瀬欧積織染化学(上海)有限公司	44	銀行借入等に対する支払保証
合計	2,476	



## VI 関連当事者との取引に関する注記

### 子会社及び関連会社

(単位：百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の 所有(被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	IKE TRADING CO., LTD.	所有 直接100.0%	債務保証	債務保証 保証料の受入	1,632 1	— —	— —
子会社	茶谷産業㈱	所有 直接100.0%	商品の販売・購入 役員の兼任2人	資金の貸付 利息の受取	807 4	短期貸付金 —	978 —

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) IKE TRADING CO., LTD. の銀行借入につき債務保証を行うものであり、年率0.1%の保証料を受領しております。
- (2) 貸付金利は市場金利を勘案して決定しております。なお、茶谷産業㈱に対する資金の貸付は、キャッシュ・マネジメント・システム契約を締結しており、頻繁に資金の貸付、返済を行っておりますので、取引金額は期中平均残高を記載しております。

## VII 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	1,305円37銭
1株当たり当期純利益	77円37銭